

		項目	はい (人)	いいえ (人)	未記入 (人)	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	18	0	0	基準は満たして実施している。子どもたちの特性に合わせ、戸外活動等も取り入れながら工夫している。戸外活動を取り入れたり、廊下などのスペースを有効活用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	14	4	0	職員の休みや研修等が重なることもあるが、配置数を満たして実施している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	0	0	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	2	0	各クラスで調整しながら活動している。 室内のみならず、近隣の公園等を活用し活動している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	16	2	0	周知するよう心掛けているが、職員の意識に任せているため意識向上する取り組みは必要。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	18	0	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	18	0	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	16	2	0	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18	0	0	研修の機会はある、参加している。 全体研修や個人で研修参加を促している。研修報告も実施。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18	0	0	アセスメントの際に、記入する様式を改善し支援計画への反映が出来るよう取り組んでいる。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	18	0	0	職員によって必要な情報の漏れを防ぐため、様式を統一している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	0	0	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	0	0	より向上するためにも、子どもの状況により支援計画を変更するという意識をもつことを大切だと考えている。 クラスの職員で内容をしっかり共有している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	18	0	0	ミーティングが増えたことで、話し合う機会が増えて療育に生かせることが出来ている。 振り返りにより、子どもたちの様子を共有することで次の日の支援に繋がっていることを実感している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	18	0	0	子どもの活動の様子を踏まえた計画を立てている。今年度は、親子参観をコロナ前のように実施可能となり、親子で楽しめる時間、保護者と子どもの様子を共有できる時間が増えたと感じている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	16	2	0	来年度の編成で個別の時間を設定する。必要に応じて個別活動を設定している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	1	0	療育提供時間を短縮したことで、毎日実施中。 朝のミーティングで全クラスの把握がしやすい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18	0	0	時間は限られるが、できる限りするよう努めている。準備不足のところは振り返りを行い今後に生かせるようしている。 毎日話し合いができており、共有できる。 日案に個々の気づきを記入している。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	0	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18	0	0	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	17	0	1	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	18	0	0	OT、STに通っている児が多くいて、連携を図っているが今後回数を増やせたらいいと思っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	1	3	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	1	3	

		項目	はい (人)	いいえ (人)	未記入 (人)	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	0	0	移行時にはしていねいな連携ができていると思う。 園への実態把握をしたり、電話での連携も密に図っている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	0	0	移行時にはしていねいな連携ができていると思う。 口頭及び文書作成し、連携に努めている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17	1	0	他事業所の研修、講演会にも参加でき、専門知識を学ぶ機会が多くありがたい。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	10	1	並行通園時は並行先で機会があるが、毎日通園児は機会が少ない。 機会としては少ない。地域の公園に出向いた時に、合えば挨拶をしたり交流をすることもある。 公園などで出会う機会はあるが少ない。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	16	1	1	自立支援協議会に参加し、地域課題について部会で取り組んでいる。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	0	1	連絡帳の活用、メール配信システムやブログで発信している。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	16	1	1	ペアトレの方式では行っていないが、学習会、交流会等で家族支援は行っている。家族支援の必要性は過大にあると感じているので取り組んでいる。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17	0	1	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	0	1	
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17	0	1	モニタリング等、定期的に保護者支援の時間を設けている。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	16	1	1	保護者会にも充分に介入することで、支援に繋げていきたい。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1	1	
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	1	
	㊲	個人情報に十分注意しているか	17	0	1	
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17	0	1	
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	6	2	
非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	0	2	
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	0	2	定期的に実施し、反省を踏まえて次回に反映できるようにしている。
	㊷	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	16	0	2	年度初めには、クラスだけでなく全職員で情報を共有している。
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	18	0	0	栄養士と個別に話す機会を設けている。指示書を提出していただき、日々の朝礼でアレルギーの確認を行っている。
	㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18	0	0	朝、夕礼、回覧等で周知している。作成の際も協議している。
	㊺	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18	0	0	虐待防止研修に参加し、伝達研修を行っている。
	㊻	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	18	0	0	

【全体としての改善目標】

① 環境、体制整備・業務改善⇒

拠点の再編により、機能強化に繋げる。

- ・感染症及び災害対策を講じ事業の継続を図る。また、研修や訓練の実施及び検証を行う。
- ・5 Sの取り組みを継続・強化し、職員の意識改革及び業務の効率化に努める。

② 療育内容の充実と専門性の向上⇒

拠点の再編に伴い、総合的な療育内容の充実に努める。ICTを活用し情報共有に努め、支援の質の向上に繋げる。研修会等の時間を確保し、専門性及び実践力を高め適切支援を提供する。

③ 保護者支援の充実⇒

チェックシステムを活用することで、センターでの取り組みをタイムリーに知っていただくよう取り組みを継続する。
また、保護者交流会及び学習会、個人懇談など年間計画に基づいて実施し、支援の充実を図る。

④ 地域の連携・つながり強化⇒

近隣施設や地域住民との交流を深め、発達障害への理解及びセンターの取り組みが広がるよう努める。